

2021年3月12日

各 位

日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合

**日本インパクト投資 2 号ファンドによる株式会社 CureApp への投資実行について**

日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合（以下、「はたらく FUND」）は、株式会社 CureApp（東京都中央区、代表取締役社長 佐竹 晃太、以下「CureApp」）が実施する第三者割当増資を引き受けました。

CureApp は、『ソフトウェアで「治療」を再創造する』というミッションのもと、テクノロジーによる新しい治療を生み出し、医療を取り巻く社会課題の解決を目指しています。CureApp が開発・提供する「治療アプリ®」は、従来の治療だけでは十分な効果を上げることが難しかった依存症・生活習慣病等の疾患に対し、行動変容という新しいアプローチで治療効果をあげることを目指すものです。また、2020 年 8 月には CureApp のニコチン依存症治療用アプリが国内初の薬事承認を受け、12 月より保険適用されています。

「はたらく FUND」は、新生銀行グループである新生企業投資株式会社が国内の子育て関連事業へのインパクト投資※<sup>1</sup>を行うため、2017 年 1 月に邦銀グループが運営する初のインパクト投資ファンドとして設立した日本インパクト投資 1 号ファンド（通称「子育て支援ファンド」）の後継ファンドです。新生銀行グループに加え、一般財団法人社会変革推進財団を共同運営者、株式会社みずほ銀行をアドバイザーに迎え、多数の機関投資家さまにご出資いただいて運営しております。「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指しています。

はたらく FUND では、「治療アプリ®」が新しい治療法（デジタル療法）として国内外でのさらなる成長を期待できること、また、研究開発中の複数の「治療アプリ®」を含めて「働く世代」を主な対象としていることから、はたらく FUND が目指す理念「多様な働き方・生き方の創造」に沿っていると判断し、今般のインパクト投資を実行しました。また、投資検討段階から、CureApp の事業が社会に与えるインパクトを測定・可視化し、その結果を経営プロセスや事業戦略の見直しに活かす「社会的インパクト・マネジメント」※<sup>2</sup> の導入について経営陣と議論を重ねてきました。出資実行後も、社会的価値の創出と経済的価値の最大化の両面から CureApp をサポートすることで、インパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進してまいります。

※<sup>1</sup> 経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資。

※<sup>2</sup> 社会的インパクト評価を経営の PDCA サイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと。

**【株式会社 CureApp の概要】**

名 称 : 株式会社 CureApp  
設立日 : 2014 年 7 月  
代表者 : 代表取締役社長 佐竹 晃太  
本社所在地 : 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-5 小伝馬町 YSビル 4 階  
事業内容 : プログラム医療機器開発、モバイルヘルス関連サービス事業

**【はたらく FUND の概要】**

名 称 : 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合（通称、「はたらく FUND」）  
設立日 : 2019 年 6 月 28 日  
無限責任組合員 : 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合  
無限責任組合員 : 新生インパクト投資株式会社  
組合員 : 一般財団法人社会変革推進財団  
アドバイザー : 株式会社みずほ銀行  
期 間 : 投資期間 5 年、組合期間 10 年  
投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイトーステージ企業

以 上